

「柏崎の橋」

25 清水谷橋

清水谷橋は、野田地内の熊谷から清水谷を結ぶ市道柏崎21-2号線が、鶴川を渡る地点に架かっている。古くは明治38年発行の新潟県刈羽郡全図（縮尺5万分の1）に描かれていた。現在の橋は、昭和58年に竣工したものだが、その前の橋は、昭和36年に掛替えが行われたものである。



昭和36年8月9日開催の黒姫村議会第5回臨時会の会議録には、工事着工時期の遅れについて、審議内容が残されている。

予算上の総工費は350万円、内訳は補助金90万円（予算費目から県の補助金と推定される）、起債100万円、村費160万円であった。昭和36年8月5日に起きた中越地方の大水害の影響で、県から補助金、起債の許可がなかなか下りず、村が県にお盆前の着手を陳情したところ、県からは逆に、現地調査の可能性を含んで、着工を9月末まで待つようにとの指示があった。県の許可前に着手すると、補助金、起債の枠から外される懸念も記されている。

これに対して、根掘り（基礎や地下構造物を造るために、地盤面下の土砂、岩盤を掘削すること）を8月中に終えないと、支障がある旨の発言が議員からあった。恐らく工期が降雪時に及ぶことへ



の懸念を示したものと思われる。村当局は、村単独事業も想定して、入札を9月1日に行う旨発言している。

昭和36年度黒姫村歳入歳出決算書によれば、歳入の部で県の土木費補助金が30万円、村債が100万円であった。また歳出の橋梁新設改良費が400万8千円であった。決算書には明細の記入がなく、清水谷橋以外の歳入歳出が含まれている可能性がある。

なお、竣工式は昭和37年6月17日に行われた。

①……現在の清水谷橋

②③……昭和36年の清水谷橋